資料一4

## 小松天満宮周辺の整備計画について

~ 梯川河川改修の目的~

#### 流域の概要

#### 梯川流域の概要

水源:鈴ヶ岳 標高1,174m

流域面積: 271.2km²

幹線流路延長: 42km

大臣管理区間:11.2km

流域内人口:11.2万人

※H7調査

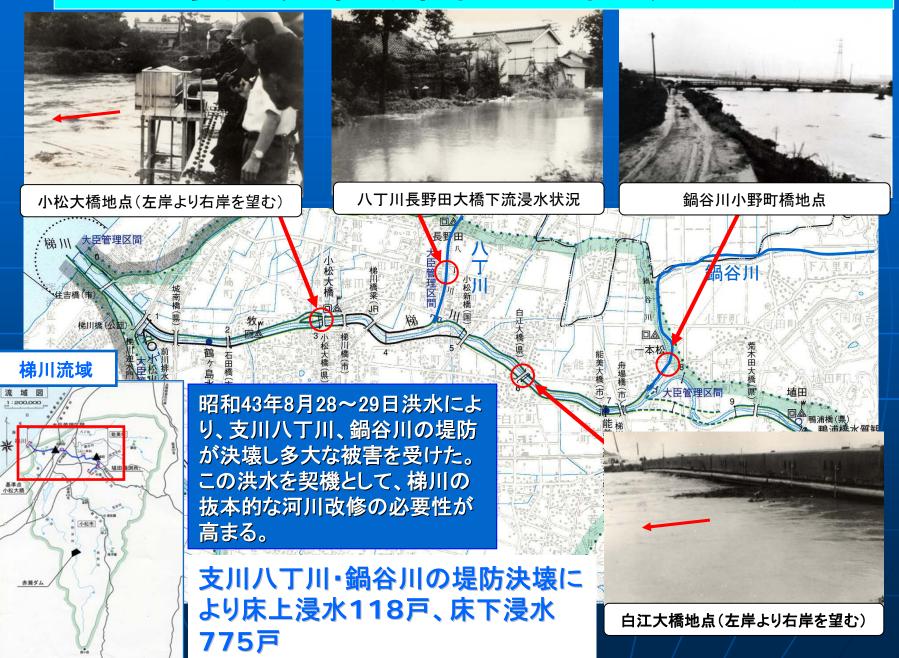
関係市町村 小松市・能美市

白山市

年平均降水量: 2,135mm(小松)



#### 主要な災害(昭和43年8月出水)

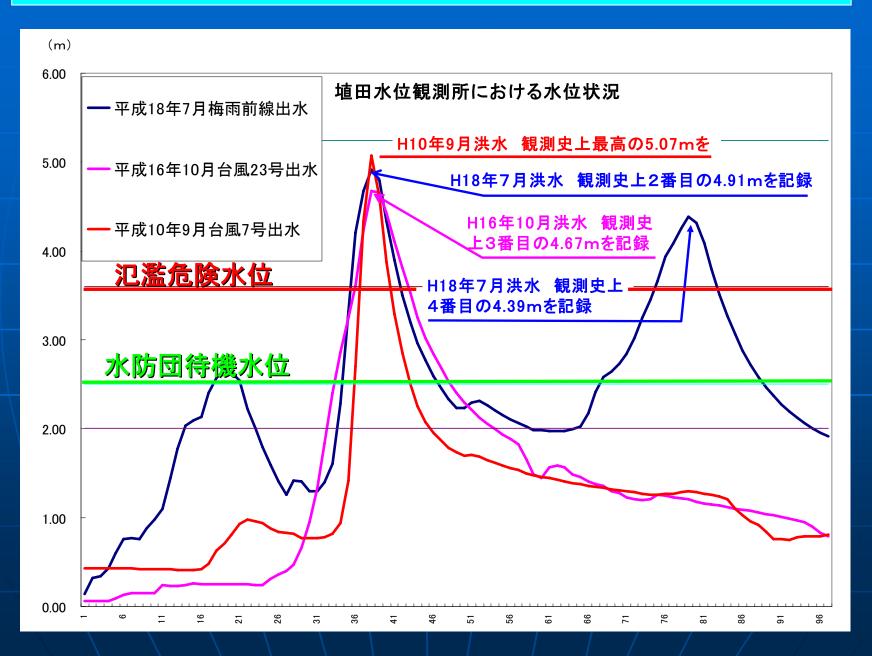


## 直轄河川改修区間 (S46年 一級河川に指定)



昭和46年 (1971年) 昭和43年8月の洪水を契機に一級河川に指定(河口~11.2km) 直轄河川として河川改修に着手

## 観測史上1位~4位が近年に発生!



## 平成18年7月洪水時の梯川



#### 治水計画の概要

#### 昭和46年12月に工事実施基本計画策定

現在、河川法第16条に基づき河川整備基本方針策定中である。

降雨確率 1/100

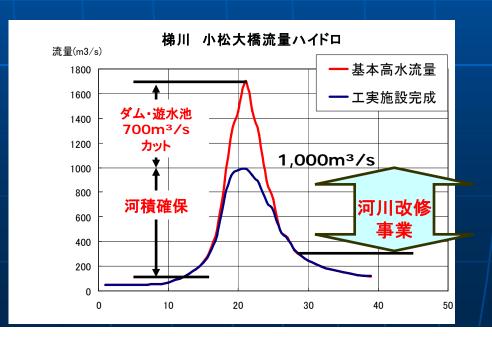
基本高水流量

1,700m<sup>3</sup>/s

河道整備 1,000m³/s

洪水調節施設 700m³/s

(赤瀬ダム300m³/s)

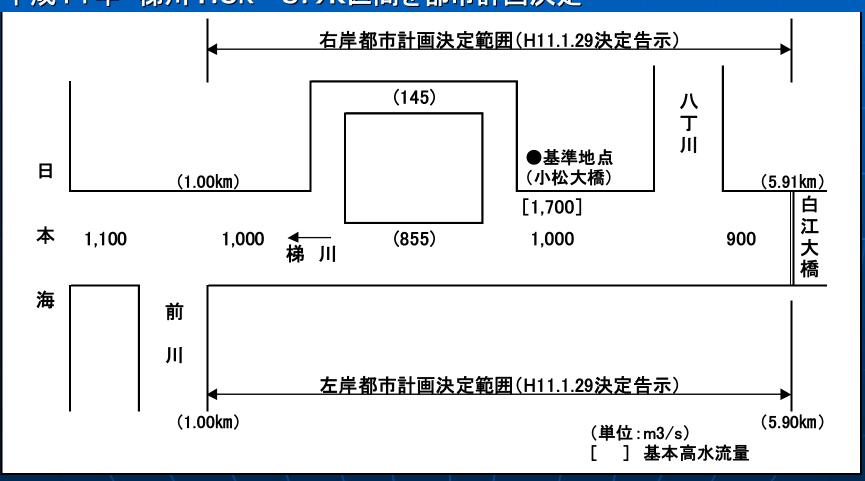




#### 分水路計画

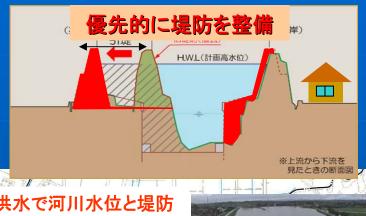
平成7年 梯川改修技術検討委員会で分水路計画についての技術的検討 平成8年 直轄河川改修計画改定(分水路計画を追加)

平成11年 梯川1.0k~5.9k区間を都市計画決定



#### 重点改修区間

前川合流部(1.0k)〜鍋谷川合流部(7.6k)を重点改修区間と位置づけ、治水安全度を早急に向上させるため段階的な整備として堤防の整備を優先して行う。





## これまでの河川改修の整備状況



## 今後の河川改修による効果(10年後)



## 今後の河川改修による効果(20年後)

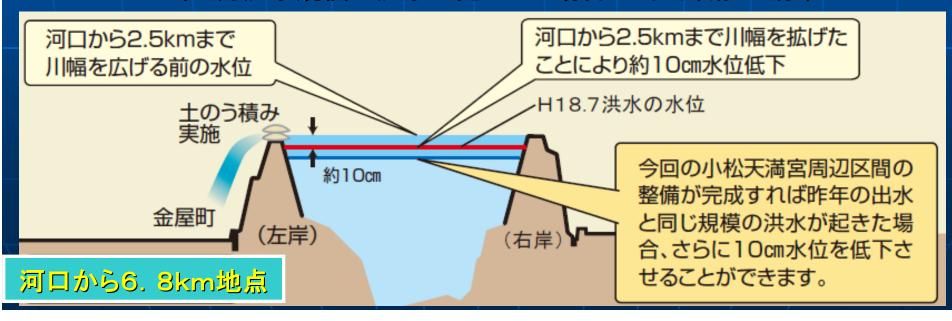


### これまでに行った事業の効果

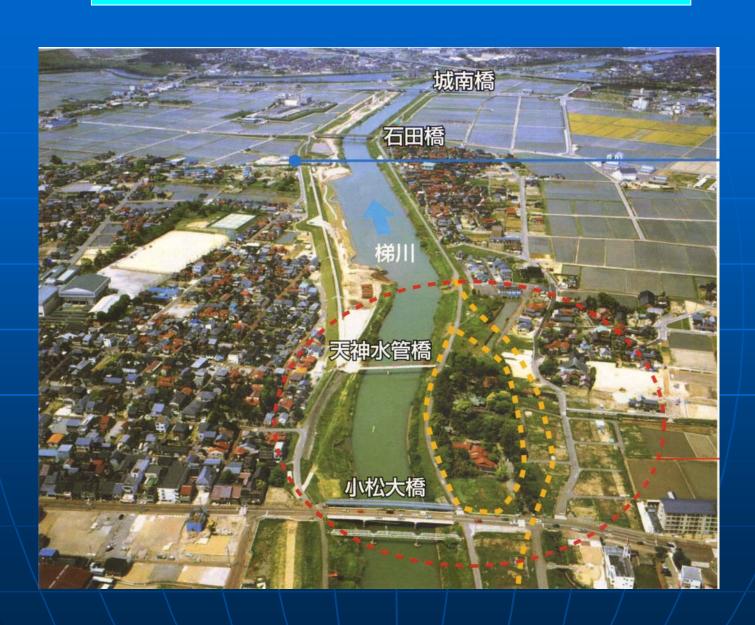




・H18年7月洪水規模の洪水が発生した場合の河川改修の効果



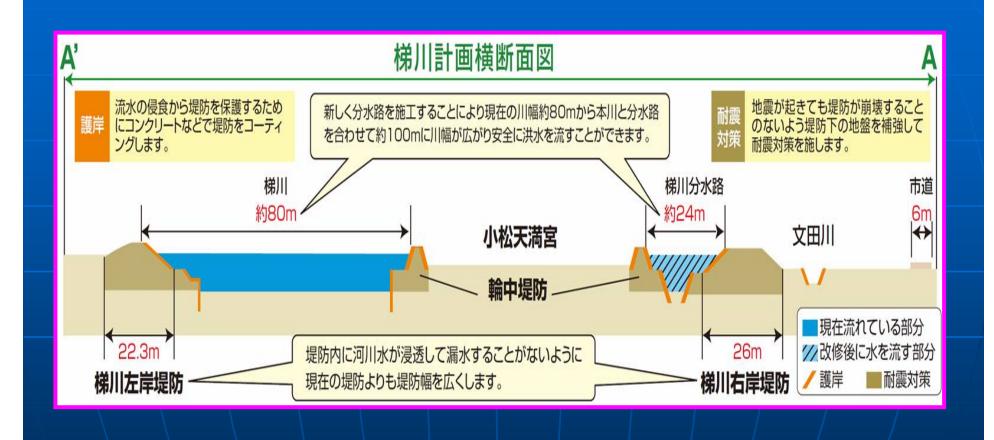
# 小松地区改修(分水路工)



#### 小松地区改修の整備内容について



## 小松地区改修の整備内容について

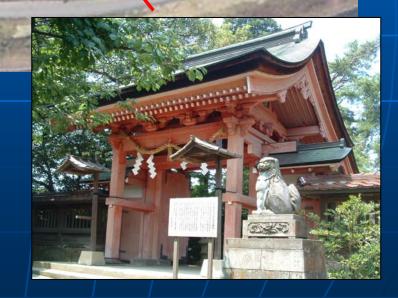


#### 小松天満宮

加賀藩主三代藩主前田利常が小松城に隠居後、祖先神として崇拝する菅原 道真を祭る北野天満宮を模して1657年に創建した。昭和36年6月に、天満 宮の一部が国の重要文化財に指定された。



小松天満社殿/本殿、石の間、幣殿及び拝殿 (国指定重要文化財/昭和36年6月指定)



小松天満宮神門 (国指定重要文化財/昭和36年6月指定)